

1. 地域情報化の取組経過と現状

町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループ<sup>( )</sup>での検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

ワーキンググループ  
委員会などの中に設置さ  
れる、具体的・実務的な作  
業や調査をする集まり

**芽室町地域情報化計画 概要**

1. 芽室町地域情報化計画とは?

- 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

2. 地域情報化の推進の展開

- 情報化基本目標について、次の取組を進めます。
  - 1. 自然と人間が共存するまちをつくるための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
  - 2. 農業を軸としたまちづくりを推進するための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
  - 3. 経済で思いやりのあるまちをつくるための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
  - 4. 子育ての安心・安全なまちをつくるための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
5. 暮らしの安心・安全なまちをつくるための情報化
  - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

3. 地域情報化の推進の方針

- 人びとが安心して暮らすこと。
- 暮らしの安心・安全なまちをつくること。
- 経済で思いやりのあるまちをつくること。
- 子育ての安心・安全なまちをつくること。
- 暮らしの安心・安全なまちをつくること。

4. 地域情報化の推進の展開

- 情報化基本目標について、次の取組を進めます。
  - 1. 自然と人間が共存するまちをつくるための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
  - 2. 農業を軸としたまちづくりを推進するための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
  - 3. 経済で思いやりのあるまちをつくるための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
  - 4. 子育ての安心・安全なまちをつくるための情報化
    - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
5. 暮らしの安心・安全なまちをつくるための情報化
  - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

5. 地域情報システムのあり方

- 地域情報システムで提供する情報内容を精選し、迅速提供、庁内各部署間の連携を促します。
- 情報システムとサービスの連携を推進します。
- 通信サービスの普及を促進しながら、電話・郵便・郵便物の配達・配達・などのネットワーク化について検討します。
- いろいろな「誰でも」「誰でも」「誰でも」利用できるような、安心・安全、安心なネットワーク化を推進します。
- パソコンやファックスを介して、どんな場所でも利用できるようなネットワーク化を推進します。
- 町民生活ネットワーク化を推進し、情報化を推進するための地域情報センター機能のあり方や推進方策について、検討します。

6. 情報化を推進する人づくり

- 町民の情報化推進能力向上を図るため、公民館などで町民のパソコン講座を開催し、町民が積極的に参加できるようにします。
- 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
- 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

7. 普及啓発の推進

- 情報化・高度化する町民ニーズに適切に対応するために、効果的な情報提供を行うための推進策を推進します。

8. 行政情報の提供について

- 行政情報ネットワーク化を推進することにより町民との情報共有を推進します。

9. 推進する上での留意点

- 生活者の視点に立った情報化を推進します。
  - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。
- 安心して使えるシステムづくりを推進します。
  - 町民生活の向上と地域の発展を図るため、町民と町職員で構成するワーキンググループでの検討・提言、町民アンケートの実施、庁内各部署のヒアリングを経て、芽室町地域情報化計画を策定(平成11年3月)し、地域情報化の目指す方向と取り組むべき施策を掲げ、様々な事業に取り組んでいます。

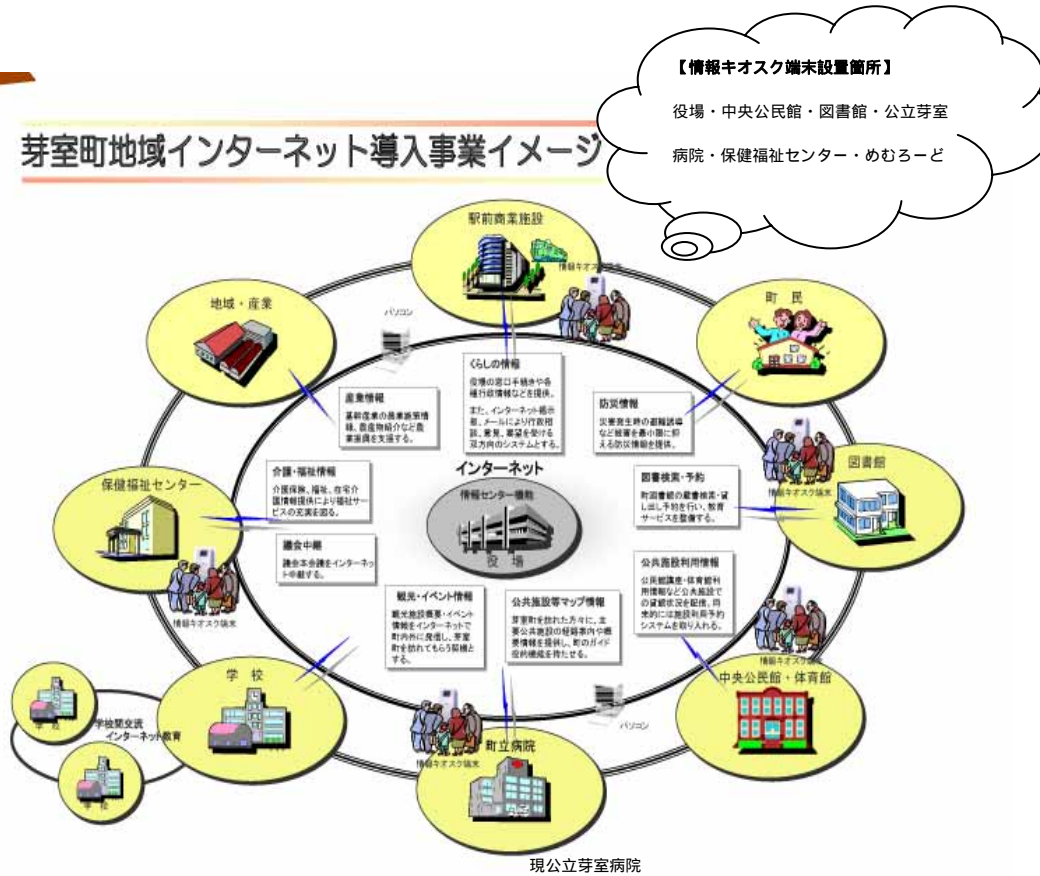
(1) 地域インターネット導入事業

町民の誰もが気軽に利用できるように、手で直接画面を触って操作する「情報キオスク端末」を町内6か所の公共施設ロビーなどに設置し(平成13年10月)インターネットアクセスや議会中継などに利用しています。

また、町内の全ての小中学校と役場内に設置のインターネットサーバー機をADSL( )回線などで接続し、学校教育に利用しています。

ADSL  
非対称デジタル加入者線の意、電話の加入者線である銅線を利用した高速データ伝送技術。上り回線に比べ下り回線の通信が高速であるため、家庭でのインターネット使用などに適している。

芽室町地域インターネット導入事業イメージ



情報キオスク端末メニューとアクセス件数

メニュー	内 容	H14	H15
観光・イベント	芽室町の観光スポットやイベントの紹介です	3,228 件	3,105 件
MAP検索	地図で見る芽室町です	3,016 件	2,954 件
体験インターネット	実際にインターネットを利用することができます	13,768 件	12,864 件
図書検索	芽室町図書館蔵書の本を探すことができます	4,063 件	4,051 件
議会中継	議会中継をライブで観ることができます	1,752 件	1,894 件
施設利用状況	芽室町内の公共施設の予約状況等を見ることができます	3,573 件	3,737 件
役場探訪・目安箱	役場の各課に対する意見・質問を受け付けています	1,581 件	1,423 件
合 計		30,981 件	30,028 件

## (2) テレホン・ファックスガイドサービス

役場での窓口手続き・申請の方法、福祉制度など、暮らしに役立つ行政情報を、電話やファックスで24時間案内するサービスを平成12年10月1日から開始しています。

### テレホン・ファックスガイドメニューとアクセス件数

メニュー	H13	H14	H15
救急・防災ガイド	-	11件	7件
届出・手続き	-	39件	30件
生活・環境	-	30件	14件
健康	-	30件	14件
福祉	-	15件	15件
教育・文化	-	185件	99件
産業	-	0件	0件
観光・イベント	-	0件	1件
町政	-	1件	0件
総合メニュー	-	11件	8件
合計	350件	322件	188件

## (3) IT講習会の開催、パソコン教室の開設

平成13年度及び平成14年度において、国の「e-japan戦略」の取り組みとして全国規模で行われたIT講習会を、町内2会場にて実施しました。

さらに、上記のIT講習会終了を受けて、平成15年10月からは公民館講座のメニューとしてパソコン教室を、中央公民館内を会場に常設し、町民のIT活用能力向上のために、パソコン操作の基礎、文書作成・表計算ソフトの操作、インターネット操作などの講習会を実施しています。

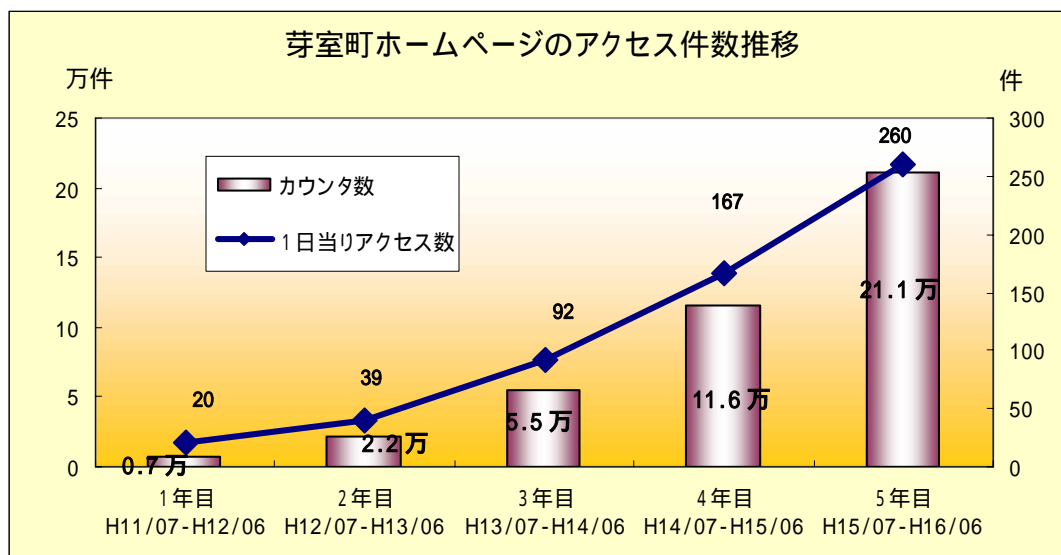
### IT講習会・パソコン教室参加状況

年 度	H13	H14	H15
受講人数	525人	198人	290人

## (4) 芽室町ホームページでの情報提供

行政が持つ様々な情報を町民へ提供する有効なツール<sup>( )</sup>として、平成11年7月に芽室町のインターネットホームページを開設し、積極的な利活用に向けて随時見直しと追加を行い、機能拡大と強化を図ってきました。

ツール  
道具。



## 2. 行政情報化の取組経過と現状

### (1) 内部基幹系業務システムの導入

住民基本台帳データを基にした各種窓口証明業務、課税業務、選挙業務、上下水道料金や公営住宅料などの各種料金業務、職員給与業務など、総合的な基幹システムを昭和61年度に役場内にメインオフィスコンピュータ<sup>( )</sup>を設置して自前処理を基本に導入、稼動しています。

その後、平成元年度には財務会計システム、平成2年度に水道企業会計システムを稼動させ内部業務系情報処理の拡充を図ってきました。

ハードウェア<sup>( )</sup>の更新としては、平成5年度と15年度にメインコンピュータを2度入れ替えて、処理能力や記憶容量・速度等の性能アップを図っています。

現在、総合行政システムとして、17係、22業務をシステム化しています。

メインオフィスコンピュータ  
一般事務処理に用いられる中規模のコンピュータ本体、オフコン。

ハードウェア  
コンピュータ-システムを構成する装置・機器。

### (2) グループウェアシステム<sup>( )</sup>の導入

上記内部基幹系業務システムでの個別的な業務とは異なり、行政組織全体として事務、事業、各種施策遂行上の情報を共有化し、迅速で確実な内部意思疎通を図ることを目的として、「スケジュール管理」「公用車・会議室予約」「お知らせ掲示板」「内部メール」「文書様式集」を一元的に利用できるシステムを平成10年度に導入しました。

導入当初は、操作できる機器(パソコン)も係1台での運用であったので、システム本来の機能を活かした利用ができない状況でしたが、平成13年度に事務系職員190人に対し一人一台のパソコン配置整備を行った後は、施策決定過程で職員意見を汲み上げるパブリックヒアリング<sup>( )</sup>機能を持った「電子会議室」を開設するなど、高度で効率的な有効利用を図ることで役場内コミュニケーションツール<sup>( )</sup>としてなくてはならないものとなっています。

グループウェアシステム  
コンピュータを使って、庁内の情報を共有し、業務の効率化を図るためのソフト。

パブリックヒアリング  
広く意見を聞くこと。

コミュニケーションツール  
情報共有・伝達するための道具。

### (3) 電子決裁システムの導入

平成元年度に導入した財務会計システムは、可視伝票での執行と財政部局のみでの情報管理を基本に構築されたもので、事務処理の迅速性はあるものの、経済性と効率性には欠くシステムでした。平成13年度に行った庁内ネットワーク整備を期に、情報の共有化、ペーパーレス化、事務効率化を目的に「財務会計システム」及び「休暇・出張申請」の電子決裁化を図っています。

### (4) 庁内LANの整備

平成10年度のグループウェアシステム導入に合わせ、係1台のパソコンと情報対策室に設置のサーバー機をLANケーブル網によって通信速度10Mbps<sup>( )</sup>でネットワーク化。その後、パソコンの職員一人一台整備には床上に敷設したケーブルが執務上煩雑であることから、庁内、庁外とも通信速度11Mbps無線によるネットワーク化を図っています。

Mbps  
通信速度を表す単位。  
Mega Bit Per Second:100  
万ビット/秒。

## 3. 情報化推進の課題

### (1) 地域情報化の課題

市街地と農村地域において、インターネット利用時の通信速度に格差(地理的デジタル・デバイド<sup>( )</sup>)が生じており、今後その格差がさらに広がることも予想されることから、その格差解消を目的とした、町内ブロードバンド化、また併せて、情報キオスク端末や、IT講習への利活用のために、公共施設間を結ぶネットワークのブロードバンド化の検討が急務と言えます。さらには、芽室町ホームページの機能強化(検索機能、防災情報発信)や、住民との双方向のやり取りを可能とするツールとしての活用法の検討が必要となっています。

デジタル・デバイド  
情報格差。パソコンやインターネットなどの情報技術(IT)を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる格差。個人間の格差の他に、国家間、地域間の格差を指す場合もある。

### (2) 行政情報化の課題

内部基幹系業務(バックオフィス)と各種証明書発行等窓口業務(フロントオフィス)のスムーズな連携、また、グループウェアシステムを有効利用した、行政内部の情報共有化促進と、住民へのタイムリーな情報提供を可能とする体制・仕組みの構築が必要となっています。

### (3) 情報保護・通信設備の課題

職員への個人情報保護意識の啓発と、情報機器の管理・運用、ソフト・ハード面でのセキュリティ対策による住民信頼の確保が必要となっています。

また、情報システムの成長(財務会計システム等)による通信回線上の情報量増大への対応、内部業務の更なる迅速化を図るため、庁内ネットワークのブロードバンド化も課題のひとつと言えます。

### (4) 情報活用能力向上の課題

情報化を推進していくうえで、職員及び町民の情報活用能力の向上は必要不可欠と言え、人的デジタル・デバイドの解消を図るため、職員、住民双方における情報研修機会の確立が必要となっています。